

職員の増員で増える申請への対応を

仏子駅近くの危険な交差点の改良

談を行なっていますが、福祉事務所の窓口は相談しづらいとの声が聞かれます。

より相談しやすい窓口にするためにどのような取り組みを行なっているか質すと「ケースワーカーに親切、丁寧に相談に乗るよう指示している。今後も安心して相談できる福祉事務所の実現をめざしたい」と答えました。

ケースワーカーの増員で増えている生活保護申請への対応を

生活保護の充実には実際に業務に当たるケースワーカーの負担を軽減していかなければなりません。ケースワーカーの増員が必要ではないかと質問すると「今の段階では入間市はケースワーカー1人あたりの担当数は許容範囲だと考えるが、今後は改善のためにいろいろなことを検討していきたい」と答えました。

私は、「生活保護の問題は憲法に明記された生存の権利、幸福追求の権利を保障するものである。改善のためには現場の充実が最も大事なことだと考えます。窓口の中と外が対立し合うのではなく、改善のためには協力し合っていくことが必要です」と訴えました。

今後も生活保護の充実のためにこの問題を議会で取り上げていきます。

仏子駅近くの交差点の改良を

仏子駅周辺の県道入間富岡線と武蔵野音大方面からの市道との交差点は朝夕特に渋滞が激しく、歩道がないため、通勤、通学者が危険な状態に置かれています。

私はこの交差点の改良を求めました。



建設部長が「改良するために地権者と交渉中である」と答えました。

小出わたるの連絡先

どんなことでもお気軽にどうぞ

住所 〒358-0053 入間市仏子1170-4
電話 04(2932)7884
携帯 090(6542)3883

「国民が主人公」つらぬく

しん赤旗をお読み
ぶん赤旗ください

日刊紙 2,900円/月 日曜版 800円/月

お申し込みは小出わたるまで

市議会つうしん



6月議会・私の一般質問(1・4ページ)

生活保護制度の充実で安心の入間市を
誰もが安心して相談できる体制を
ケースワーカーの増員が不可欠
仏子駅近くの交差点の改良を

NO. 5

2010年7・8月

生活保護制度の充実を

困った人が安心して相談できる体制を

現在、働く人たちの5人に1人が年収200万円未満のワーキングプアと呼ばれる状態に陥っています。

派遣労働が自由化されたことにより、非正規労働者が大幅に増加しました。現在、働く人たちの3人に1人が非正規の労働者で、女性や若者では、2分の1が非正規で働いています。

小泉構造改革から壊され続けてきた日本の労働条件

非正規で働いている人たちは、いつ解雇されるかわからないたいへん不安定な状況に置かれています。

賃金も十分ではなく雇用保険にも未加入で、寮に入っている人も多いため、仕事を失うと同時にホームレスになってしまうことも少なくありません。

このように日本の雇用におけるセーフ

ティーネットは、ずたずたになってしまいました。

そうしたなか、最後のセーフティーネットとしての生活保護が重要性を増しています。

保護の打ち切りなどで悲惨な事件が相次ぐ

しかしながら、生活保護にまつわる悲惨な事件は後を絶ちません。

2007年に福岡市で生活保護を受けていた男性が、福祉事務所職員に保護の辞退を強要され、「おにぎり食べたい」と書き残して餓死した事件は、全国に衝撃を与えました。その後も同様の事件が相次ぎました。このような事件を二度と起こしてはなりません。

私は、「入間市の生活保護行政の改善について」福祉部長に質問しました。

現在、日本共産党入間市議団は生活相

地域住民に説明もなく

6月定例市議会

公民館利用団体の75%を有料化

今議会に提出された議案のうち、共産党は公民館使用料有料化(免除の見直し)に関する条例に反対しました。

社会教育活動の発展阻む改定

この議案は公民館で活動している97%の団体・サークルに入間市発足以来44年間、使用料を免除してきたものを改悪し、免除団体を22%に縮小させるものです。

入間市では現在、1100団体、1万人以上の方が公民館で活動しています。近隣市に比べて活発な公民館活動であり、誇るべきものです。これは入間市が社会教育活動を重視し、生涯教育を保障してきた成果です。



文化祭で作品を見入る市民

使用料の見直しにより、これまで午前・午後・夜間・一日の枠で利用してきたものが、一時間単位での利用となります。利用料は右記表のように、部屋の広さで料金が異なります。広い会場を必要とするサークルにとっては、負担が重くなり今後の活動に影響を及ぼしかねません。

今回の見直しは、行政が保障すべき社会教育活動の発展を阻むものです。

入間市の財政は「健康な状態」

日本共産党は以下の問題点を指摘し、条例改定に反対しました。

1. 財政の逼迫を理由に、「受益者負担」をすすめているが、入間市発行の「入間市の予算」によると、財政は「健康な状態」であること。
2. 公民館活動参加者の実態が把握されておらず、公民館利用者や地域との協議がされていないこと。
3. 負担が重く、年金生活者など経済的に余裕のない人の参加を阻むおそれがあること。
4. 新たな規定による免除団体の基準があいまいなこと。

久保稲荷公民館の場合	
室名	使用料(時間)
大会議室	400円
会議室(洋A)	100円
会議室(洋B)	200円
会議室(和A)	100円
会議室(和B)	100円
会議室(和C)	100円
工作室	200円
料理実習室	300円
移動式観客席	400円
舞台照明	800円

5. 小サークルや大会議室を利用するサークルの負担が重くなるおそれがあること。

憲法に基づき「国民の教育を受ける権利」を保障すべき

公民館は、憲法に明記された国民の教育を受ける権利を保障する社会教育施設であり、無条件に社会教育活動に参加できるようにすべきです。従来通り無料にすべきと主張し、反対しましたが、他会派の賛成多数により可決されました。

普天間基地撤去の意見書実らず

普天間基地の辺野古移設に反対と怒りの世論が広がっています。解決の道は基地の無条件撤去しかありません。



危険な普天間基地

共産党は「普天間基地の無条件撤去を求める意見書」を提案しましたが、他会派の賛同を得られず、提出できませんでした。

共産党議員の一般質問

吉沢かつら議員

公契約条例の制定・国民投票法問題

石田よしお議員

日本一汚れた不老川の清流化

安道よし子議員

学校図書教育の充実・砂利道の舗装

小出わたる議員

生活保護制度の充実・道路問題

日本共産党市議会報告

2010年7・8月

発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883